



## 次世代を担う小学生が、津波からの 防災について学んできました!!!

7月27日・28日の2日間にわたって、4年生から6年生19名が津波の大きな被害を受けた陸前高田市を訪問しました。今回は地元 陸前高田の広田小学校の子どもたちと交流することで、同世代で意識を高め合うことも目的のひとつ。一緒に街にくりだし、防災に強いまちづくりのための工夫や、これまでの津波を語り継ぐための工夫などをみたり、説明を受けたりして学びを深めていました。その後は一緒にカレー作り。最後まで別れを惜しむ姿が印象的でした。2日目は伝承館や奇跡の一本松、南三陸の防災庁舎跡も見学。熱心に質問したり、真剣に哀悼の意を表したりする姿を見て、檜葉の次代の防災の担い手として、職員一同、頼もしく感じたひと時でした。



### 子どもたちの感想から

- ・広田小の子と協力してカレーを作ったり、防災ウォッチングをしたりして、交流もできた。自分たちが成長して、町の防災のリーダーみたいになっていたらうれしいと思う。
- ・広田小の子たちがわたしに関わってくれてうれしかった。人と関わるのって大切だなと思い、今までなった友達だけでなく、いろいろな人と関わっていけるといいなと思った。
- ・階段をのぼっているとき、津波の高さが書いてあって、津波ってこんな高い所まで来るなんて、おそろしいんだなと思いました。石の壁にも津波の跡が残っていて、すごくびっくりしました。
- ・ベンチがかまどになったり、自炊の仕方が書いてあったりするのが檜葉にもあったらいいなと思いました。
- ・奇跡の一本松や防災庁舎を見て、津波が大きな被害をもたらし、多くの人をまきこんだことが分かった。命を懸けて活動した消防団の人や、犠牲になってしまった役場の人が見ることが心に残りました。

## 2年目の学校運営協議会がスタート!!!

新しい委員さんも迎え、榊葉町としては2年目となる学校運営協議会が始まりました。昨年度始めは手探りの中でのスタートでしたが、後半には協議も大変盛り上がり、町で目指す「日本一の教育」について、その実現に向けた具体的な話し合いがなされました。先日は第2回目の部会も開催され、教育シンポジウムの開催とその準備としての教育ディスカッションの開催も決定!!! 町全体で教育を盛り上げようとする機運も高まっています。教育ディスカッションはだれでも参加できますので、ぜひご参加ください。詳しくは下記の【お知らせ】をご覧ください。



## ならはのゆずを使って、ゆずみそ作りにチャレンジ

昨年度、榊葉町の魅力を町外に発信する活動の一つとして、絆協定を結ぶ福島大学の大学祭において、榊葉町のPRや物販を実施しました。今年度はさらに榊葉の魅力子どもたちが主体的に発信するため、榊葉産のゆずを使ったゆず味噌を作り、販売することとなりました!!! 起業家教育の一環となるだけでなく、味噌づくりにあたっては、福島市に未だ避難なさっている浪江町の復興公営住宅にお住いの方と協働することとなり、震災学習にもつながると考えています。双葉郡を地域と捉え、幅広い視野をもてると思います。



## 放射線教育の在り方について、広域で協議しています。

地域学校協働センターでは、南双葉郡エリア（榊葉町・川内村・広野町・富岡町）の拠点として、広域での放射線教育について、環境省とタッグを組み、その充実に向けた議論を進めています。自治体間の連携も深まってきており、情報共有により、各校における教育活動も充実してきています。次年度からは学校外での学びの場も設定する予定です。地域の方向けや親子参加型の教育活動も企画しますので、ぜひご期待ください!!!



### 【地域学校協働センターからのお知らせ】

#### ○教育ディスカッションについて

10月11日（水）の17時30分から19時まで榊葉小学校内の地域学校協働センターにおいて、第一回目の教育ディスカッションを実施します。当日は町長や教育長らの出席も予定されており、子どもたちや地域住民、保護者の皆さんなど、様々な立場の方で6人程度のグループを組み、軽食やお菓子を食べながら、ざっくばらんに語り合う場となっています。たくさんの皆さんのご参加をお待ちしています。ぜひ、ご参加ください。

【お問合せ先】 榊葉町地域学校協働センター（榊葉小学校1階） 猿渡 ・ 星  
（直通）070-7421-5156 （教育委員会）0240-23-5515 kyoudou-n@town.naraha.lg.jp